

<http://www.hagihara.co.jp/>

最新のトピックスをはじめ、当社に関する  
さまざまな情報がご覧いただけます。

HAGIHARA 萩原工業株式会社  
～あなたの近くにきつとある～

証券コード 7856  
文字サイズ 字の再検索  
検索 拡大  
サイトマップ ENGLISH SITE

ホーム 会社案内 製品紹介 IR情報 採用情報  
HOME COMPANY PRODUCTS IR INFO RECRUIT

萩原工業株式会社は、  
東証第一部に上場いたしました。

萩原工業株式会社は、おかげさまで皆様方の多大なるご支援により、5月21日、東京証券取引所市場第一部にお場の運びとなりました。心から感謝するとともにここに誇りを持ってご報告申し上げます。今後ともさらなる事業の発展に邁進いたします。29一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

What's NEW

- 2014.07.03 FMくらしき「小野道隆子のごいちろラジオ」に出演
- 2014.05.28 【動画】東京証券取引所市場第一部指定インタビュー
- 2014.05.21 東京証券取引所市場第一部指定のご挨拶
- 2014.03.10 シートの日（4月10日）制定のお知らせ
- 2014.02.21 岡山県文化奨励賞を受賞いたしました

IRニュース

- 2014.12.06 トップメッセージを更新しました
- 2014.12.06 代表取締役の異動に関するお知らせ
- 2014.12.06 剰余金の配当（東証一部指定記念配当）に関するお知らせ
- 2014.12.06 平成26年10月期決算短信
- 2014.09.06 平成26年10月期第3四半期決算短信

創業50周年  
社歌

萩原工業の新しいCM放送中！

Flash Player / 480 × 270  
CMを見る！

フラットヤーン  
可能性に魅せられて

製品カタログ  
Products Catalog

シート製見取り・販売

萩原工業は、フロッピーディスクを必要としています。  
FAGIANO

HAGIHARA  
萩原工業株式会社



HAGIHARA  
HAGIHARA INDUSTRIES INC.

## 第52期 年次報告書

平成25年11月1日～平成26年10月31日

萩原工業株式会社

株主の皆様には、平素よりご高配をいただき厚く御礼申し上げます。

萩原工業の平成26年10月期が終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

当社を取り巻く環境は、デフレ脱却に向けた各種政策により景気回復への明るい兆しが見えるものの、海外景気の下振れリスク、為替や原材料価格の変動等、依然として予断を許さない状況が続いております。このような状況において、第52期は「販売力強化へ主要戦略を結集し遂行す」をスローガンに掲げ、不安定な外部環境に左右されない強い企業体質を目指し全員で取り組んでまいりました。その結果、売上、利益ともに前期を上回る業績を達成することができました。

また、昨年5月21日に当社株式は、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。株主の皆様には改めて御礼申し上げますとともに、今後益々の業容拡大と企業価値向上を目指してまいります。

当社はこれからも「切る」「伸ばす」「巻く」の中核技術を大事にしなが、より強固な組織体質を構築することで株主の皆様のご期待に応え、また当社の製品や技術を通じて世のため人のために役立つ会社であり続けます。

### 経営方針

当社グループは、「長年培ったフラットヤーン技術を大事にしなが、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」を経営理念として掲げ、顧客の便益性にえ最高の品質とサービスを提供し、提案型マーケティングと圧倒的なコスト競争力を持ち、独自の製品を開発することを基本方針といたしております。

平成27年10月期におきましては、「現状打破、一人ひとりのダイナミズムを呼び起こせ！仕事を先取れ、自分を変えて、会社を変える」をスローガンに掲げ、中期経営計画（MI53）の達成に向けて、「Marketing」・「Management」・「Innovation」においてそれぞれ具体的施策を遂行してまいります。そして、質実ともに優良企業への成長を目指して、株主・取引先の皆様並びに従業員との共存共栄を図り社会への一層の貢献を行うことを経営指針として活動してまいります。



代表取締役社長 萩原 邦章

### 対処すべき課題

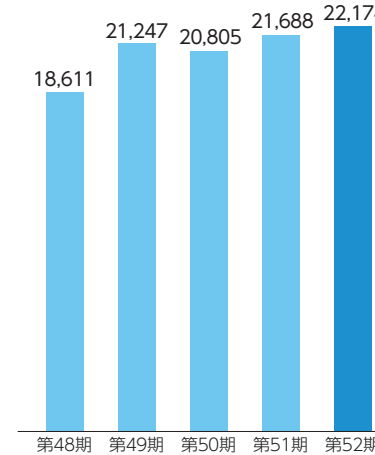
当社グループは、激しさを増す市場競争のなかで、中期経営計画（MI53）の実行により、フラットヤーン関連事業で確固たる地位を築くことに努めます。

そのためには、コスト競争力、新製品・高機能化製品の開発、海外市場開発のそれぞれ強化を図るとともに、連結最適生産体制の再整備、人材育成、そして徹底した安全と品質向上を通じて、当社を取り巻く様々なリスクに対して揺るぎない経営体質の構築にグループ一丸となって取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしく御願申し上げます。

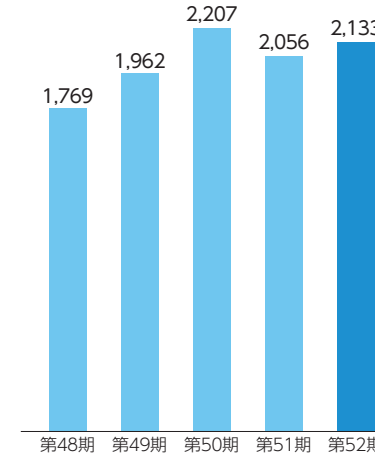
### 売上高(連結)

(単位：百万円)



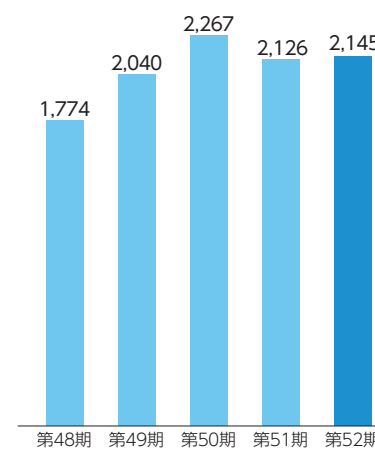
### 営業利益(連結)

(単位：百万円)



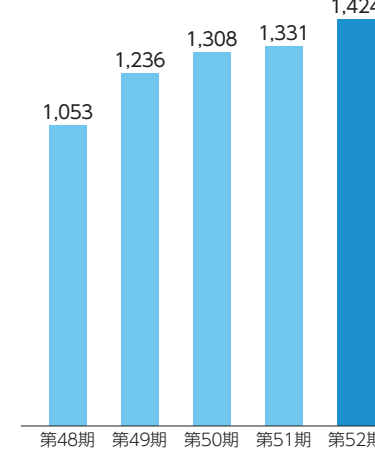
### 経常利益(連結)

(単位：百万円)



### 当期純利益(連結)

(単位：百万円)



### 平成26年10月期 決算サマリー(連結)

■ 売上高  
**221億74百万円**  
前期比 **2.2%** 増

■ 営業利益  
**21億33百万円**  
前期比 **3.7%** 増

■ 経常利益  
**21億45百万円**  
前期比 **0.9%** 増

■ 当期純利益  
**14億24百万円**  
前期比 **7.0%** 増

# ブルーシートができるまで ~なかなか見られない製造工程をご紹介~

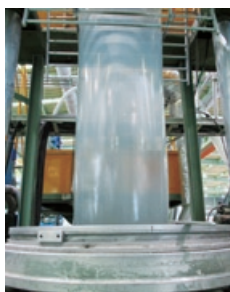
お花見などのレジャーから工事現場まで、あらゆる場面で活用されているブルーシート。そんなブルーシートの、普段は見ることのできない製造工程をご紹介します。

## スタート

### 原料



原料はポリエチレンの小さな粒。ブルーシートも最初はこの粒から始まります。



原料の粒を溶かし、薄く筒状に伸ばしてフィルムを作ります。

### 糸(フラットヤーン)をつくる

#### 切る



#### 伸ばす



フィルムを細く切り、熱板とロールを使って伸ばしていきます。伸ばすことで、細くて強い糸(フラットヤーン)になります。完成した糸は1本ずつ機械で巻き取っていきます。

#### 巻く



### 中核技術に注目!!

フラットヤーンをつくるための「切る」「伸ばす」「巻く」の3つの技術は、当社が創業以来守り続けている大切な『中核技術』です。これらの技術により、当社はフラットヤーン関連製品のほとんどを開発し世に送り出してきました。また、機械製品事業のスリッター等産業機械にも活かされています。



こうして糸が完成します。原料に色を混ぜることで、白だけでなくさまざまな色の糸をつくることができます。

### 織る



巻き取った糸を織機にセットし、織物にしていきます。



工場内にはたくさんの織機があり、次々に織られていきます。

### 織物完成



こうして白い織物が完成します。幅はなんと、約3.7メートルもあります。

### コーティング



先ほど作った白い織物を青くコーティングします。こうして巨大なブルーシートが完成します。

### 完成



カットして折りたためば、皆さんがお使いのブルーシートが完成です。

糸の作り方や織り方、コーティングの仕方等を変えることで、ブルーシート以外にも様々なシートを作ることができます。

### 耐用年数シート



### UVシート



### 遮熱シート

ちなみに、ブルー以外にも・・・

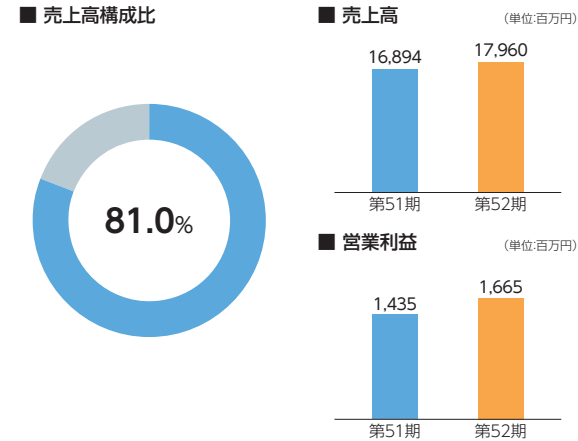
TOPICS 東京証券取引所市場第一部指定

当社株式は平成26年5月21日に東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物であり、ここに厚く御礼申し上げます。

今後も株主の皆様をはじめ多くの関係者の方々のご期待にお応えすべく尽力してまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



合成樹脂加工製品事業



概況

合成樹脂加工製品事業におきましては、上期は堅調に推移したものの、下期は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減により弱含みに転じました。特に主要な販売先である住宅・農業・土木業界、包装資材関連業界が、資材価格や人件費の高騰もあり厳しい事業環境となったことに加え、円安や市況高騰により原材料、輸入製商品の価格が上昇するなど厳しい状況が続きました。このような環境の中、海外向けラミクロスシートやコンクリート補強繊維、国内向け人工芝関連、機能性シート・クロスなど新製品の拡販に注力しつつ、経費削減に努めてまいりました。

インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」におきましては、利益率の改善を意識した販売戦略の結果、労務費の上昇やインドネシアルピア安という減益要因を補い、前期並みの利益を確保しました。中国の子会社「青島萩原工業有限公司」におきましては、輸出シートの販売価格の下落、労務費の上昇が続き前期比減益となりましたが、業績は安定しております。

トピックス パルチップの市場拡大

■国内：建築業界でのパルチップの拡大

活況な建築業界において、当社のモルタル・コンクリート用補強繊維「パルチップ」が活躍しております。大型ショッピングモール、ソーラーパネル架台、各種工場のフロア等で使われ、工期短縮によるコストダウンや危険作業の低減効果で好評をいただいております。

■海外：パルチップの更なる海外市場展開

3年前より本格進出した南米市場では、当初中心であった工場・倉庫のフロア用途から、現在では道路補修や鉱山採掘の現場等、多岐にわたってパルチップが採用されております。欧州では海底トンネルに使われるなど、活躍の場は更に広がる可能性を秘めており、今後も営業活動を積極的に展開してまいります。

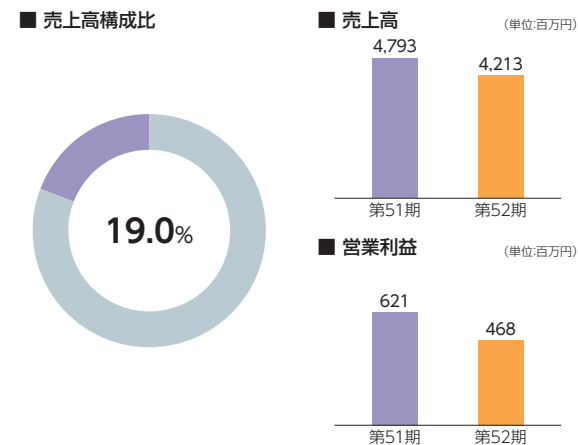


ソーラーパネル架台



道路補修

機械製品事業



概況

機械製品事業におきましては、主力製品であるスリッター関連機器では、食品向けの軟包装用及び機能性フィルム加工用の分野が、販売先の慎重な設備投資姿勢など厳しい市場環境にありながら堅調に推移しました。一方押出機及びリサイクル関連機器は、低価格機種の上市により引き合い件数は増加したものの、販売面では前年を下回る厳しい結果となりました。

トピックス ラップフィルム用自動ワインダーを上市

機械製品事業では、かねてより食品用・業務用のラップフィルムの市場に着目し機械開発を進めてまいりましたが、この度、ラップフィルム用自動ワインダー「A8T-101」を上市いたしました。この機械は、巻取部に8本のサーフェイス駆動ロールによる全自動ターゲット方式を採用、各種フィルムを最速で毎分800mの速さで巻き取ることができる等、随所でユーザーの作業効率の向上を実現しております。既に受注をいただいているほか、多くのお客様が当社工場内に常設の展示機を用いて多様なフィルムのスリットテストを行われる等、ラップフィルム市場においても当社への注目が高まっております。今後も皆様のご期待に応えるべく、様々な機械開発に取り組んでまいります。



ラップフィルム用自動ワインダー

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 平成25年10月31日現在	当期 平成26年10月31日現在		前期 平成25年10月31日現在	当期 平成26年10月31日現在
資産の部			負債の部		
<b>Point 1</b> 流動資産	13,756	14,801	<b>Point 3</b> 流動負債	6,098	6,203
<b>Point 2</b> 固定資産	8,803	9,209	<b>Point 3</b> 固定負債	1,601	1,378
			負債合計	7,699	7,581
有形固定資産	6,840	6,930	純資産の部		
無形固定資産	153	235	株主資本	14,761	15,888
投資その他の資産	1,809	2,043	資本金	1,778	1,778
資産合計	22,559	24,011	資本剰余金	1,393	1,393
			利益剰余金	11,592	12,719
			自己株式	△ 2	△ 2
			その他の包括利益累計額	97	540
			その他有価証券評価差額金	17	24
			繰延ヘッジ損益	8	8
			為替換算調整勘定	70	293
			退職給付に係る調整累計額	—	213
			少数株主持分	0	0
			純資産合計	14,860	16,430
			負債純資産合計	22,559	24,011

**Point 1** 流動資産

流動資産は、前期末に比べ現金及び預金等が増加したことにより148億1百万円となりました。

**Point 2** 固定資産

固定資産は、生産設備の増設、更新及び合理化投資等により前期末に比べて増加し、92億9百万円となりました。

**Point 3** 流動負債、固定負債

流動負債は、未払法人税等が増加したこと等により前期末に比べて増加し、62億3百万円となりました。固定負債は長期借入金が減じたこと等により13億78百万円となりました。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成24年11月1日 至平成25年10月31日	当期 自平成25年11月1日 至平成26年10月31日
売上高	21,688	22,174
売上原価	16,043	16,505
売上総利益	5,645	5,668
販売費及び一般管理費	3,588	3,534
<b>Point 4</b> 営業利益	2,056	2,133
営業外収益	185	125
営業外費用	116	113
<b>Point 4</b> 経常利益	2,126	2,145
特別利益	—	105
特別損失	—	14
税金等調整前当期純利益	2,126	2,236
法人税、住民税及び事業税	791	814
法人税等調整額	3	△ 2
少数株主損益調整前当期純利益	1,331	1,424
少数株主利益	0	0
<b>Point 4</b> 当期純利益	1,331	1,424

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 4** 営業利益、経常利益、当期純利益

新製品の絶え間ない市場投入に加え、戦略製品に注力した結果、営業利益21億33百万円、経常利益21億45百万円、当期純利益14億24百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期 自平成24年11月1日 至平成25年10月31日	当期 自平成25年11月1日 至平成26年10月31日
<b>Point 5</b> 営業活動による キャッシュ・フロー	1,286	2,870
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,045	△ 1,444
財務活動による キャッシュ・フロー	751	△ 970
現金及び現金同等物に係る 換算差額	38	20
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	1,031	476
現金及び現金同等物の 期首残高	1,801	2,832
現金及び現金同等物の 期末残高	2,832	3,308

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**Point 5** 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前当期純利益が増加したことや、売上債権・たな卸資産の圧縮等により28億70百万円の資金の増加となりました。

## ■株式に関する事項

(平成26年10月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 18,000,000株  
 発行済株式総数 ..... 7,448,800株  
 単元株式数 ..... 100株  
 株主数 ..... 2,791名

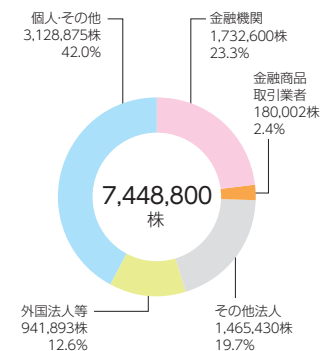
## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
萩原株式会社	927	12.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	647	8.69
ゴールドマンサックスインターナショナル	332	4.46
日本ポリケム株式会社	305	4.09
萩原工業従業員持株会	299	4.01
萩原邦章	265	3.55
萩原賦一	197	2.64
ドイェルバンクアゲー・ロンドンビー・ノトリー・クライアンツ 613	143	1.92
野村信託銀行株式会社(投信口)	136	1.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	129	1.73

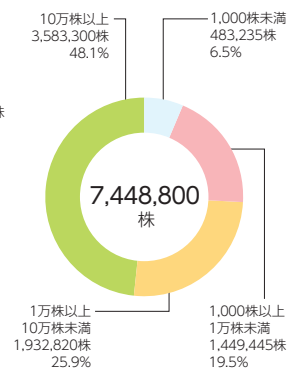
## ■株式分布状況

(平成26年10月31日現在)

## 所有者別株式分布状況



## 所有株数別株式分布状況



## ■会社概要

(平成26年10月31日現在)

商号 萩原工業株式会社  
 本社 〒712-8502  
 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地  
 TEL.086-440-0860  
 FAX.086-440-0869  
 設立 昭和37年（1962年）11月29日  
 資本金 17億78百万円  
 従業員数 420名  
 主な事業内容 ポリエチレン・ポリプロピレンを主原料とした合成樹脂繊維のフラットヤーンを用いた関連製品及びフラットヤーン技術を応用したスリッター等産業機械の製造・販売

## ■役員

(平成27年1月23日現在)

【取締役】  
 代表取締役社長 社長執行役員 萩原 邦章  
 取締役 専務執行役員 田中 稔一  
 取締役 常務執行役員 道廣 和生  
 取締役 常務執行役員 浅野 和志  
 取締役 執行役員 笹原 義博  
 社外取締役 秋草 史幸

【監査役】  
 常勤監査役 吉川 龍男  
 監査役 中原 裕二  
 監査役 石井 辰彦

【執行役員】  
 執行役員 浅野 幾弘  
 執行役員 依田 伸二  
 執行役員 小合 秀明  
 執行役員 飯山 辰彦  
 執行役員 山本 実治  
 執行役員 吉田 淳一

## 株主メモ

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
 証券コード 7856  
 事業年度 11月1日から翌年10月31日まで  
 定時株主総会 1月  
 基準日 定時株主総会 10月31日  
 期末配当 10月31日  
 中間配当 4月30日  
 単元株式数 100株  
 公告方法 電子公告  
 当社ホームページアドレス <http://www.hagihara.co.jp/>  
 ※ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 電話 0120-094-777（通話料無料）

## 株式のお手続きについてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、ご不明な点は口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店におきましてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。